

2025 年 11 月 13 日（木）名古屋市議会経済水道委員会 （名古屋城関係部分）

名古屋市民オンブズマンによる、半自動文字起こしアプリによる文字起こし

委員長 小出昭司（自民・中村区）：皆さんお疲れ様でございます。

ただいまから経済水道委員会を開会いたします。本日は観光文化交流局関係の請願審査を行った後引き続き観光文化交流局関係の所管事務調査を行います。初めに、請願審査を行います。なお書記による朗読につきましては、請願事項のみ朗読することとさせていただきますので、よろしくお願いをいたします。

それでは、令和 7 年請願第 10 号を議題に供し、先ず書記に朗読をいたさせます。

名古屋市観光文化交流局：失礼いたします。

令和 7 年請願第 10 号 名古屋城天守閣整備事業の現状に関する市民説明会の開催を求める件

1、名古屋市は 2015 年に名古屋城天守閣の整備方針を耐震改修から急遽、木造復元に変更した後、木造天守閣整備基本計画が 8 年の検討期間を経ても、未だに作成されていない理由と事情を明らかにすること。

2、史実に忠実な復元を目的とする木造復元について、消防法や建築基準法などの現行法を踏まえた耐震耐火構造、避難設備の設置やバリアフリー対応が不可欠であるため、建築が許されるという木造天守は、史実とは明らかに異なる構造と内観にならざるを得ないことから、名古屋市はその現実を市民に今こそ公表し、市民に正確な現状理解を促すこと。

3、名古屋市が進める木造復元計画と、従来からあった耐震改修計画の両者を比較する内容で、市民の判断を仰ぎ、民意に沿った天守閣整備を実施すること。

以上でございます。

委員長 小出昭司（自民・中村区）：次に当局の意見を求めます。

谷総務課長：令和 7 年請願第 10 号、名古屋城天守閣整備事業の現状に関する市民説明会の開催を求める件につきまして、当局の意見を申し上げます。

名古屋城天守閣整備事業につきましては、令和 5 年 6 月に行った名古屋城バリアフリーに関する市民討論会において差別事案が発生し、この差別事案に対する検証や名古屋城天守閣整備事業の総括を終えるまでは、事業を前に進めないことといたしました。

令和 6 年 9 月に差別事案に係る検証委員会の最終報告が示され、令和 7 年 5 月、名古屋城天守閣整備事業の進め方に関する係る総括を取りまとめたところであり、現在は事業の再開に向け、障害者団体等に対し、様々な場において再発防止策を含む今後の事業の進め方について丁寧に説明を行っているところでございます。

当局といたしましては、市民の皆様にご理解をいただきながら事業を進めていくことが重

要であると認識しており、事業の再開に当たりましては市民向け説明会等の開催を含む開催も含め、市民の皆様にしっかりと説明をしていくことを検討しているところでございます。以上簡単ではございますが当局の意見をさせていただきますようしく申し上げます。

委員長 小出昭司（自民・中村区）：それでは、お尋ねになり、ご意見などがあれば発言をお許しいたします。

よろしいですか。

特にないようであります。

それでは本件の取り扱いについてであります。正副委員長といたしましては、現在、名古屋城天守閣整備事業の再開に向け、障害者団体等に対して説明を行っているところであり、その状況を見守りつつ、慎重に検討していく必要があることから、本日のところは保留としたいと存じますがいかがでしょうか。

それでは、さよう取り扱わせていただきます。

以上で請願審査を終了いたします。